

非接触 AI 体温測定デバイス

ミテテル・サーモ

Non-Contact AI Temperature Measurement Device



新型コロナウイルスなどの発熱をとまなう感染症予防の観点から、施設入口での体温測定の需要が高まっています。

額にかざす非接触体温計が広く普及していますが、体温計に手指が触れてしまう、専用スタッフを配置しなければならないなど、運用面及びコスト面(人件費)の課題があり、誰でも簡単に取り扱える非接触体温測定装置のニーズがありました。

「ミテテル・サーモ」は装置を独立させることにより、管理システムや管理者、ランニングコストを不要にし、専属スタッフやシステム管理者を配置できない小規模な事業者や施設でも、装置を購入するだけで対策を行えます。

非接触 AI 体温測定デバイス「ミテテル・サーモ」の特徴

- ✓ 装置の前に立つだけで、完全非接触で体温を測定
- ✓ AI 技術による顔認識で人物の顔部分の体表面温度を計測
- ✓ 小型・軽量の独立デバイスのため設置工事が不要
- ✓ 管理システムやランニングコストが不要で、システム管理者がいない小規模事業者に対応
- ✓ ハードウェアからソフトウェアの全てを国内で構築しているのでカスタマイズも可能

「ミテテル・サーモ」画面表示例

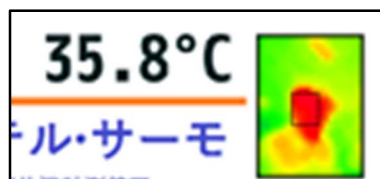
DISPLAY

平熱の場合

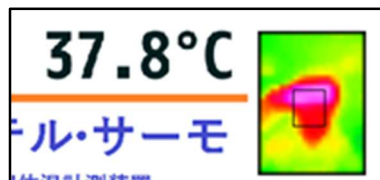
発熱の疑い (37.5 度以上)



サーモカメラの検出情報表示



高温になると明るく表示



- 設置したデバイスから 0.3~0.5m 程度の場所で数秒停止すると、非接触で体表面温度を計測します。マスクを着けたままでも検温可能です。

※ 医薬品医療機器法(薬機法)の定める体温計ではないため、医療診察では利用できません。

※ 写真は開発中の状態で製品化時には変更されることがあります。

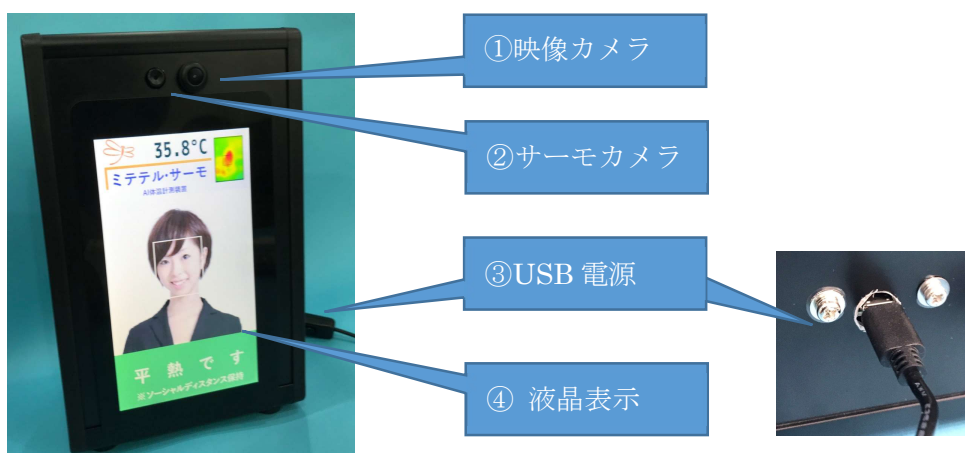
「ミテテル・サーモ」スペック

SPEC

- サイズ 150×230×80 mm
- カメラ性能 視野角 60° ~120°
- 温度性能 32H x 24V
画角 60° ×110°
±0.3 度
エージング時間 4~5 分
- 認識速度 約 1.5 秒
- 警告温度 37.5°C
- AI 認識人数 1人
- 消費電力 5V2.0A

輸出入、利用規制に該当するハードウェア及びソフトウェアは使用していません。

※米政府機関が禁止する国防権限法 Section 889 指定企業となる中国のファーウェイ(華為技術)、ダーファ(浙江大華技術)、ハイクビジョン(杭州海康威視数字技術)の機器は使用していません。



「ミテテル・サーモ」他社製品との比較

COMPARISO

名称	AI 搭載	導入コスト	ランニングコスト※	管理システム	製造国
ミテテル・サーモ	○	15 万円	不要	不要	日本
製品 A	○	25 万円※1	24 万円※1	オプション	非公開
製品 B	○	36 万円~	7.2 万円~※2	要	中国
製品 C	○	12 万円~	96 万円~	要	日本

上記表は 2020 年 7 月時点の情報を独自に収集したもので、他社製品のスペック及び価格を保証するものではありません。

※ランニングコストは年間費用を記載

※1 買取 25 万円か月額 2 万円のどちらかを選択

※2 初年度は不要、2 年目以降の保守費用

製造：アイ・サイナップ株式会社
東京都港区元麻布 2-2-9-101
Web: <https://www.ai-cynap.com>
Mail: customer@aicynap.com
Tel : 03-5476-0277



※ 医薬品医療機器法(薬機法)の定める体温計ではないため、医療診察では利用できません。

※ 写真は開発中の状態で製品化時には変更されることがあります。